



MISGUIDED QUEST

「ボディーハッキング」に熱中するシリコンバレー
“不老不死”を金で買うテック富裕層
アメリカ医療の致命的な矛盾

シリコンバレーの超富裕層たちは今、^{ほくだい}莫大な資金を投じて「不老不死」の実現に躍りになっているようだ。著名なITジャーナリストであるケーラ・スウィッチャー氏は、彼らの“ボディーハッキング”への執着の根底にあるのは、死への恐怖と自己愛であると喝破する。ビジネスのあらゆる障壁を打破してきたIT起業家たちでも逃れられない「生物の限界」をも乗り越えようとする彼らの「痛ましい」^{あぶ}奮闘ぶり、そしてその一方で、アメリカの医療システムが抱える根本的な問題が炙り出される。



番組ホスト

クリスティアン・アマンプール

イラン人の父と英国人の母を持つ。生まれはロンドンだが、幼少期をテヘランで過ごす。英国でジャーナリズム養成講座を修了。渡米し、ロードアイランド大学でジャーナリズムを専攻、首席で卒業。1983年、CNNに入社。数々の紛争地帯で現地取材を行い、ジャーナリストとして高い評価を得る。2021年に卵巣がんで卵巣の摘出手術を受けたことを発表。現在も第一線で活躍する。

ゲスト

ケラ・スウィッシャー

米国人ジャーナリスト。大学では偽情報やプロパガンダについて研究。ジャーナリズムの世界でキャリアを築き、「ウォール・ストリート・ジャーナル」「ニューヨーク・タイムズ」「ニューヨーク・マガジン」などに寄稿してきた。Podcast 番組「On with Kara Swisher」のホスト、「Pivot」の共同ホストを務める。



Listening Quiz

(57) 「生命もハックできる」と錯覚するテック富裕層



Christiane Amanpour Would you want to live forever?

It seems plenty of ultrarich tech titans do, and they're using their considerable money and influence to shape the race to live longer. Kara Swisher, the acclaimed tech and business journalist, says the Silicon Valley bros* are doing it wrong.

Kara, welcome to the program. You're poking holes in all these bros that want to live forever. You interviewed Bryan Johnson,* who's a tech entrepreneur. What do you think is motivating them?



Kara Swisher Well, they feel like they have all the money

in the world but biology is undefeated, and so they're thinking if they could hack everything else—which they have, for the most part—they can hack this. They really can't, but the struggle to do it is really both poignant and, really, pathetic, because if they spent the money on helping poverty or spent the money on gold-standard testing of these things...

And in Bryan's case, he spends \$2 million a year—he's 45, 46—to look 45 or 46, essentially, but with better pecs, I guess. Well done. Anybody could do that, really. And so one of the things that struck me is that because they're testing on just him, it doesn't help humanity in any way; it helps Bryan Johnson. And so my whole thing was, "Why are you doing this if you really want to help humanity?"

- misguided:**
《タイトル》誤った、見当違いの
- quest:**
《タイトル》探求、追求
- tech titan:**
テック業界の巨頭・大物人物
- considerable:**
かなりの、相当な
- acclaimed:**
称賛された、高く評価された
- poke holes in:**
～を批判する、～のあら探しをする
- entrepreneur:**
起業家、事業家
- motivate:**
～に動機を与える
- biology:**
生物学 ▶ここでは「生物学の法則、肉体の摂理」くらいの意味合い。
- undefeated:**
無敗の、負け知らずの
- hack:**
～をハックする、(システムの裏をかいて)～を改変する
- struggle to do:**
～しようとするあがき、闘い
- poignant:**
(哀れみを誘って)胸を突く、痛ましい
- pathetic:**
哀れな、情けない
- gold standard:**
(臨床試験などの)最高水準の基準、標準基準
- essentially:**
要するに、つまるところ
- pec:**
《話》= pectoral muscle 胸筋
- Well done.:**
よくやった、上出来だ ▶ここでは皮肉。
- humanity:**
人類、人間社会



※お聞き苦しい箇所がありますが、放送時のものです。ご了承ください。

クリスティアン・アマンプール あなたは永遠に生きていますか。テック大手の大富豪たちの多くはそう思っているようで、その巨額の資産と影響力を使って、長く生きるための競争を形作ろうと必死です。(しかし) ITとビジネス専門のジャーナリストとして高く評価されているケーラ・スウィッシャーさんは、そういったシリコンバレーの有力者たちのやり方は間違っている、と言います。

ケーラ、番組へようこそ。あなたは、永遠に生きていと願うこうした男性たちを(CNNの新番組の中で)批判していますね。あなたはテック起業家のブライアン・ジョンソンさんにインタビューを行いました。彼らを突き動かしているのは何だと思えますか。

ケーラ・スウィッシャー そうですね、彼らはこう感じているのです、「想像を絶するほどの富は手に入れたが、自然の摂理は負け知らずだ」と。それで、「他のあらゆるものをハッキングできるのなら——実際、ほとんどの分野でそれに成功してきたのだから——これもハッキングできるはずだ」と考えているわけです。実際はそれは不可能なのに、必死で奮闘する彼らの姿は、まさに痛ましく、同時に惨めでもあります。だってそのお金を貧困層の支援や、こうした(長寿の)研究の最高水準の検証のために使ったら……。

ブライアンの場合、彼は年間200万ドルを(アンチエイジングなどに)費やして——彼は45歳か46歳なのですが——その結果、要は45歳か46歳に見えているんです、胸筋だけは人より立派かな。ご苦労さま。ただ、そのくらい誰でもできるんです。私が気づいたことの1つは、この研究の被験者が彼だけで、人類全体には全く役に立たない、という点です。ブライアン・ジョンソン個人にのみ役に立つ研究なのです。それで私がずっと気になっていたのは、「本当に人類を救いたいのなら、なぜこんなことをしているのか」という点でした。



今回のゲストは気鋭の米ジャーナリスト、ケーラ・スウィッシャー氏。「アンダーソン・クーバー360°」にも頻繁に出演する、CNNのご意見番の1人だ



テック業界で成功を収めたブライアン・ジョンソン氏。若さを保つために年間200万ドルを費やしているという

■ the Silicon Valley bros

broは元来brother(兄弟、親友)を短縮した俗語だが、現代英語においては、特定の界限に属する若者をやゆる言葉として使われることが多い。the Silicon Valley brosとかtech broといえ、ITベンチャーで成功して巨万の富を得、特権意識を持って傲慢(ごうまん)に振る舞う男性エリート層、といったニュアンスがある。

■ Bryan Johnson

ブライアン・ジョンソン氏はデジタル決済企業Braintreeの創業者で、同社をPayPalに売却して巨万の富を築いたIT起業家。現在はProject Blueprint(プロジェクト・ブループリント)というアンチエイジング事業を立ち上げ、自らの肉体を実験台にして年間約200万ドル(約3億円)を費やしている。ちなみに、彼は2026年の8月で49歳になる。